

武蔵野北 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語

科 目： 英語コミュニケーションⅠ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ Crown English CommunicationⅠ(三省堂) ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】	・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。	・外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができるようになる。 【聞くこと】 ・日常的・社会的な話題に関して、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることを把握することができるようになる。 【読むこと】 ・日常的・社会的な話題に関して、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることを把握することができるようになる。 【話すこと（やりとり）】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにさせる。原則としてここでのやり取りは即興で行う。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【話すこと（発表）】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【書くこと】 ・日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。 ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	書					
1 学 期	Lessons 1-3 【知識及び技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の理解と場面に応じた運用 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材について、理解して考えを深めることができる。 ・本課の題材について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] 本課の題材に関する談話を読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、与えられた表現を参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えることができる。	・本課の題材に関する英語話者の体験について説明するモノログの概要や要点を聞き取り、聞き取った内容を伝え合う。 ・本課の題材に関するグラフを見て、読み取ったことや考えたことについて話し合う。 ・本課の題材に関する談話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・本課の題材について意見や情報を交換する。 ・本課の題材に関する談話について、概要や要点を表に書いて整理したりしながら、書いてまとめる。 ・本課の題材についての対話から、概要や詳細を聞き取る。 ・本課の題材について、情報や意見を交換する。 ・本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書く。 ・本課のターゲットである文法事項を使って、自分の考えや行動について書く。 ・本課の題材について、概要を聞き取ったり読み取ったりする。 ・本課の題材について、自分自身の考えなどを伝え合う。	○	○	○	○	【知識】 本課のターゲットである文法事項に関する事項を理解している。 本課の題材の中で使われている表現の意味や働きを理解している。 【技能】 [L] 本課の題材について、対話の中での相づちをうつ表現や話の展開に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 [R] 本課の題材について、本課のターゲットである文法事項や本文中で使われている表現に留意して、読み取る技能を身に付けている。 [Sや] 本課の題材などについて、考える時間をかせぐ表現や例をあげる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書いて伝える技能を身に付けている。 [L] 本課の題材について、対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取って捉えている。 [R] 本課の題材について、理解を深めるために、本課の題材に関する談話を読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えている。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 本課の題材について理解を深めるために、本課の題材に関する談話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを書いて伝えようとしている。	○	○	○	48

[illegible]